

アサヒキャンプに参加してくださるすべての保護者の皆様へ

2025 年度アサヒキャンプ卒業  
68 期 円堂（2026 年 3 月記す）

日頃から、アサヒキャンプにご参加いただきありがとうございます。ホームページに掲載されている保護者の皆様の感想をすべて読ませていただきました。子どもの成長やそれを見守り支えている保護者の皆様の気持ちが熱く伝わり、学生としてこれ以上ない経験をさせていただけたことに感謝の念が湧き、自然と涙が止まりませんでした。

そこで、私からも皆様へ感謝の気持ちを伝えたく、この手紙を書いています。

私たち 4 年生 14 人は、本日をもってアサヒキャンプを卒業します。右も左も何も分からないまま入った 1 年生からもう 4 年間の月日が経とうとしています。「卒業」いつかはこの日が来ること、来てしまうことはわかっていたのですが、いざ卒業となるとすごく寂しいです。それだけ、私にとってアサヒキャンプで過ごした日々が充実していた証だと思っています。

4 年間の思い出は挙げるときりがありませんが、1 番の思い出は私がディレクターを務めたキャンプでの経験です。私は、天ちゃんと「2024 年春の川のほとりキャンプ」のディレクターを務めました。ここでは、子ども一人ひとりのつぼみ（よいところ）を見つけ、褒めたり認めたりしていこうという目的で臨みました。どの人にも、必ずその人にしかないよいところがあると思っています。それを実際のキャンプで子どもが見つめることができ、発表していた瞬間は鳥肌が立ちました。よいところだけでなく、この他の様々な部分でも、他者を理解する上では、相手を細かな視点で観察することが大切です。私たち学生も細かな視点から、子どもに最適な支援や声掛けなどを模索しながら活動しています。今までできなかったことができるようになった瞬間、分からなかった問題が分かったという瞬間など、多くの子どもの成長を身近で見守ることができました。そこで見ることもできた子どもたちの笑顔は一生忘れることがないでしょう。

また、多くの保護者の皆様から、「アサヒキャンプが居場所です。」という大変嬉しいお言葉を何度もいただきました。それは、私たち学生にとっても同じです。私たちもアサヒキャンプが居場所です。ここまで 71 年間も続けることができているのは、子どもたち、保護者の皆様のおかげです。本当に感謝しています。

「一期一会」私が大好きな言葉です。子ども、保護者の皆様、学生、OB など、アサヒキャンプで出会ったすべての方とのご縁は、決して奇跡でもなく偶然でもなく、「出会うべくして出会った仲間」だと感じております。必ずこの出会いには意味があります。だからこそ、私はこの 4 年間のかけがえのない宝物のような経験を、4 月からの教員生活に活かします。私は卒業してしまいましたが、子どもや保護者の皆様の幸せ、ご活躍を心から願っております。今後もぜひアサヒキャンプにご参加ください。私も新天地で頑張ります。そして、アサヒキャンプにもまた顔を出したいと思います。

最後に改めて、今まで本当にありがとうございました。